

# コミュニケーション

No.78

2009.10月号  
Communication

特集 1

## アソヴェの森

特集 2

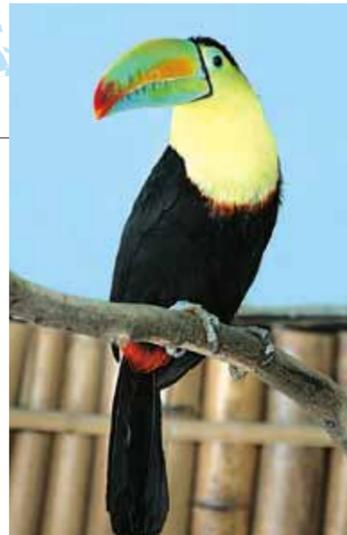
## ブリーディング ローンについて

移動動物の紹介／誕生動物の紹介  
秋田公立美術工芸短期大学とのつながり  
夜の動物園／飼育日誌から  
(社)日本動物園水族館協会総会を終えて  
かたばた通信



CONTENTS

- 02 移動動物の紹介
- 03 誕生動物の紹介
- 04 特集1 アソヴェの森
- 06 特集2 ブリーディングローンについて
- 09 レポート:秋田公立美術工芸短期大学との連携
- 10 イベントレポート:夜の動物園
- 10 飼育日誌から
- 11 (社)日本動物園水族館協会総会を終えて
- 12 かたばた通信



表紙の写真  
**サンショクキムネオオハシ**  
 (キツツキ目 オオハシ科)

メキシコの熱帯雨林地域からコロンビア北部、ベネズエラ西部に分布。熱帯の低地林、森の外縁部、木々の散在する開けた場所などに棲息しています。全長は45～56cm。胸は明るい黄色で、くちばしは様々な色が混ざり合っています。主食は多種多様の果実等で、当園ではリンゴやブドウ、トマト、九鳥鳥のエサなどを与えています。当園では現在、メス(愛称コセン)1羽を飼育しています。美しい羽色やくちばしを是非ご覧ください。

すみっく



水浴びしているオオハシ

元気でね!



**移動動物を紹介します**

元気でね!

今年仲間入りした動物たち

よろしくね!



ラガー【ライオン】

この春、大森山動物園の仲間に加わったのは、ライオンのラガー(オス)です。多摩動物公園からの来園で、当園で飼育中のメス、マンガーのお婿さんになります。お見合いも順調に進み、今では展示場で仲良く過ごす2頭の様子をご覧ください。

5月には秋田山王ライオンズクラブ(鈴木豊会長)から秋田三鶏(声良鶏、比内鶏、金八鶏)が寄贈されました。今回の寄贈により、秋田三鶏の展示の充実とペアの形成に期待がかかります。

さらに、ジャンボウサギやボアコンストリクターも導入しました。こうした導入の一方で、繁殖などのため、アムールトラのアルル(メス)、ライオンのパロン(オス)とバルミー(メス)を他園に搬出しました。



秋田三鶏【声良鶏】

よろしくね!



ボアコンストリクター

よろしくね!



ジャンボウサギ

よろしくね!

大森山を後にした動物たち

元気でね!



日立かみね動物園へ  
 バルミー【ライオン】



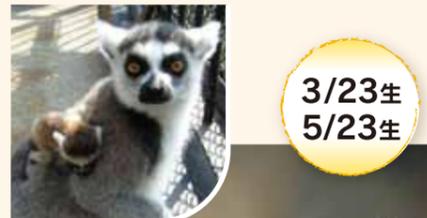
東北サファリパークへ  
 パロン【ライオン】

元気でね!

飼育動物数 【平成21年9月末現在】

類	種数	点数
哺乳類	52種類	286点
鳥類	44種類	169点
は虫類	11種類	33点
両生類	2種類	8点
魚類	4種類	15点
合計	113種類	511点

3月23日と5月23日、ワオキツネザルに赤ちゃんが1頭ずつ誕生しました。生まれたばかりの頃はお母さんにつかまってばかりでしたが、今では展示場の中を元気に飛び回っています。



3/23生  
 5/23生



ワオキツネザル

信濃とたつこのペアによる、オスの「千秋(せんしゅう)」です。2月5日に産卵、3月18日にふ化しました。そして、5月31日には無事巣立ちを果たし、現在では、一部の羽根をのぞき、親とほとんど変わらない立派な姿になりました。



3/18  
 ふ化



ニホンイヌワシ

※今年、信濃とたつこのペアは全部で3個産卵しましたが、1つは原因不明の破卵、もう1つは研究資料として岐阜大学に提供したので、ふ化したのはこの個体のみです。

今年は、マーコールが出産ラッシュ。6月にはララに2頭の赤ちゃん(オスとメス)が、7月にはヤワラに1頭の赤ちゃん(オス)が生まれました。新しくなったマーコールの岩山は、父親マーを筆頭に、10頭の大所帯になりました。



6/9生  
 7/12生

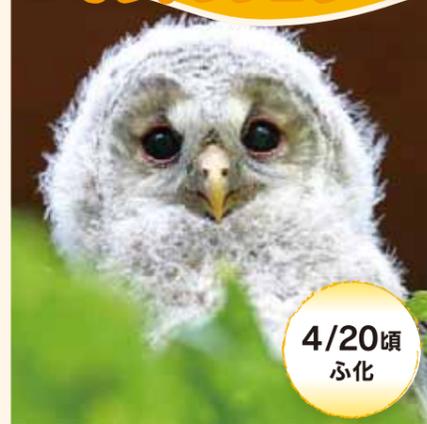


マーコール

**Babies in 2009**

よろしくね! 今年生まれたかわいいベビーたち

ホンドフクロウ



4/20頃  
 ふ化

ホンドフクロウにオスのヒナが1羽生まれました。ふ化後、約35日で展示場にデビュー。(巣箱から出てきました。)ふ化してしばらくは、フワフワのかわいらしい綿羽でしたが、最近はお母さんと同じ姿になりました。

キョン



5/8生

5月8日に生まれた「ルー」くん、オスです。キョンの赤ちゃんには天敵から見つかりにくくするため白い「斑点模様」があるのですが、今では母親のハナと同じような模様になりました。

カナダヤマアラシ



4/2生

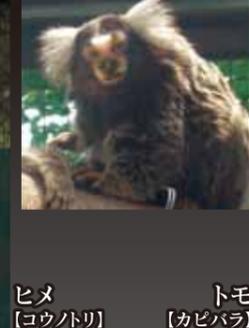
メスの「もずく」です。生まれて1か月後の5月には無事に展示場デビューを果たしました。母親メープルが子育て上手なこともあり、順調に成長しており、体の大きさはお母さんに迫るほどになりました。

訃報



飲飲【レッサーパンダ】

うれしい誕生のニュースの一方で、病気や怪我などで息を引き取る動物もいます。ニホンコウノトリのヒメが衰弱により死亡。レッサーパンダの飲飲(ヤムヤム)は感染症で、カピバラのトモは怪我のため、コモンマーモセットのユキは難産のため死亡しました。今までかわいがっていただき、ありがとうございました。



ヒメ【コウノトリ】

トモ【カピバラ】



ユキ【コモンマーモセット】

特集  
1 宝くじ遊園

# アソヴェの森



アソヴェの森は、ここ大森山に暮らす動物たちをテーマにデザインしました。

生きるために様々な進化をとげた動物たち。その体の不思議を学び、いつもと違う遊びの空間で、動物たちを観察することができる空中観察遊具。それが「アソヴェの森」です。

遊具としてのおもしろさはもとより、動物たちの不思議を紹介する学習パネル、情報発信としてのミルヴェ通信を備え、ワピチやトナカイたちを間近に感じながら、子供から大人まで楽しめる大森山動物園ならではの遊びと学びの空間になりました。

地形を生かし、ワピチ、トナカイ、マーコーン、ラマの展示場がスカイウォークや通路でつながっており、様々な角度から動物を観察できます。また、この通路を使えば車椅子に乗ったままでもイヌワシ展示場まで行くことができます。

木立の中を滑走するローラースライダー、マーコーンの岩山、ハンモックなど、遊びの要素も充実しています。

ミルヴェの情報発信地として、本物の動物たちに会いに行く前に、まずは動物たちの情報をキャッチ！見て、触って、動物の生態について楽しく学べるしかけがいっぱいです。

新たな視点での動物観察のヒントと、動物の生態の不思議を伝えます。



たいようの塔  
高さ13mのたいようの塔からは、日本海を望むことができます



そよかぜローラースライダー  
長さ30mのローラー滑り台



たいようの塔からのながめ

アソヴェの森は、(財)日本宝くじ協会の助成事業です。(財)日本宝くじ協会をはじめ、遊具の選定、導入に関わった多くの方に対し、心より感謝いたします。



マーコーンの角ヘルメットで記念撮影



たいようの塔の中のウォールクライミング



マーコーンの岩山で食事風景を観察



楽しく学べる学習パネル

## アソヴェの森 動物たちとの共生について ～リスクとハザード(遊具の安全性)を通して～

再整備担当 伊藤 博之



「リスク」と「ハザード」。聞き慣れない言葉かもしれませんが、遊具の安全に対する基本的な考え方です。

リスクは、事故を未然に回避する能力を育むような危険性や子どもが判断可能な危険性を、ハザードは、事故につながる危険性や子どもが判断不可能な危険性を言います。施設管理者として、リスクは適切に管理し、ハザードは除去しなければなりません。

ご存じのとおり、子どもには経験や身体能力に大きな個人差があり、小学校高学年にとってはリスクでも、幼児にとってはハザードになってしまうものもあります。しかしながら、子どもは危険性を解って挑戦しながら、肉体的にも精神的にも発達していくことも事実です。幅広い年齢層が利用

するこのような施設では、身長や年齢別に使用を制限することは、必ずしも望ましいことではありません。

アソヴェの森は、3歳から12歳の子どもを対象に設計されています。個々の遊具についても、利用方法のシールを貼っていますので、みんなでルールを守って楽しく遊びましょう。

それでは、アソヴェの森の住人たち(動物たち)にとってのリスクとハザードは何でしょうか？

資料館前からの動物不思議デッキ左のワピチとその反対側のトナカイ、ローラースライダー下のラマ、マーコーンたちにとってのリスクとハザードとは？それは紛れもなく、アソヴェの森の「遊具」そのものに違いありません。

これまで、来園者もあまり通ることのなかったマーコーンとワピチの間の園路には人があふれ、頭上もわいわいがやがや！静かな田舎がリゾート地に急変したような

ものでしょう。おそらく、彼らにとってのリスクは、遊具の柱への衝突であり、ハザードは、落し物の誤飲や遊具設置によるストレスでしょう。

4月18日のオープンから、大きなトラブルもなく半年が経とうとしていますが、住人たちのエリアへの落とし物が多くなっています。落とした方が気づき、スタッフに知らせてくれることがほとんどですが、落としたことに気づかない場合もあります。タバコ1箱が、それも動物がいたずらした後で見つかったことがありました。誤食による体調不良を見極めるため、多くの時間を観察に要することもありました。

環境変化が彼らに及ぼすハザードを除去するため、我々動物園スタッフが努力していることは言うまでもありませんが、利用する皆さんにもまた協力していただかなければなりません。

ここ大森山動物園のアソヴェの森で動物たちと共生して行くため、持ち物を落とした場合、落とし物に気づかれた場合は、すぐに動物園スタッフにお知らせください。



利用方法のシール

ミルヴェニュースでは旬な動物の話題を知ることができます。



# 特集2 ブリーディングローンについて

獣医師 三浦 匡哉

毎年、大森山動物園では新しい動物を導入していますが、動物園に新しく動物を入れる方法をみなさんはご存じでしょうか？

動物は、多くの場合、他の動物園や水族館、動物商からやってきます。この時、動物商からは、お金を払って動物を買って（購入）いますが、他の動物園や水族館からは、無償で譲り受けたり、大森山動物園で飼っている動物と交換することがあります。

この他に、今回特集する、「ブリーディングローン」という方法があります。



## ブリーディングローンとは？

ブリーディングローン(Breeding Loan。以下BLとします。)とは、**繁殖を目的にした動物の貸し借り**のことです。

動物を買うとお金がかかります。でも、BLで動物を借りるのであればお金はかからず、動物の所有権も貸し出し元の園館に残ります。つまり、買った、もらった、もらった場合、動物の持ち主は大森山動物園になりますが、BLの場合、その動物の持ち主は元の園館ということになります。

そして、生まれた子供の所有権については、BLの契約をするときにあらかじめ決めておきます。例えば、第1子は元の所有者である園館、第2子は大森山動物園、その後生まれた子供についてもこの順番のままという具合です。

## なぜBLをするのか？

動物園や水族館では、希少な動物の数を増やす努力をしていますが(種保存)、ひとつの園館だけの努力ではとても難しいのです。例えば、同じ親から生まれた子供だけがどんどん増えていくと、血統的に偏りが出てきます。いわゆる「血が濃くなる」状態になり、その種にとってよくありません。

そこで、購入のための費用はかけずに、活発に動物の貸し借りを行うことで、希少動物の繁殖の機会を少しでも増やそうという取り組みが、全国の動物園・水族館で行われています。

こうした活動は、(社)日本動物園水族館協会の種保存事業にも位置づけられ、全体協力の元で進められています。

## 大森山動物園でのBLの状況について

大森山動物園では様々な動物をBLで借り受け、また、貸し出しています。

最近では、昨年11月に盛岡市動物公園からキリンのリンリン(ただし、所有園は東京都多摩動物公園)がやってきました。また、6月にはアムールトラのアルルを広島市安佐動物公園に貸し出しています。



## 借り受けている動物

動物名	性別	愛称	借り受け園館名	契約年月日
タンチョウ	♂	シゲタ	東京都恩賜上野動物園	S59.4.5
カリフォルニアアシカ	♀	スミコ	神戸市立王子動物園	S63.9.15
ユキヒョウ	♀	ライサ	名古屋市東山動物園	H3.11.15
マナツル	♂		東京都多摩動物公園	H4.2.26
アカコングウインコ	♀		埼玉県こども動物自然公園	H5.6.10
チンパンジー	♀	ジェーン	東京都多摩動物公園	H5.10.27
オオバタン	♀		埼玉県こども動物自然公園	H7.3.1
ニホンイヌワシ	♂	青葉	仙台市八木山動物公園	H8.11.1
ニホンイヌワシ	♂	信濃	東京都多摩動物公園	H12.11.24
レッサーパンダ	♀	ナナ	東京都多摩動物公園	H15.3.14
カリフォルニアアシカ	♂	マヤ	千葉市立動物公園	H11.10.5
ベンガルヤマネコ	♀	ダイヤ	東京都恩賜上野動物園	H12.7.11
ワタボウシパンシェ	♀		千葉市立動物公園	H15.2.16
ダイアナモンキー	♂		福岡市動物公園	H16.2.26
ダイアナモンキー	♀		札幌市円山動物園	H16.4.23
シンリンオオカミ	♂	シン	富山市ファミリーパーク	H17.10.27
シンリンオオカミ	♀	キララ	富山市ファミリーパーク	H17.10.27
ワタボウシパンシェ	♀		千葉市立動物公園	H18.2.27
アメリカビバー	♂		新潟市水族館	H19.3.8
アムールトラ	♀	アシリ	東京都多摩動物公園	H19.3.9
レッサーパンダ	♂	ユウタ	長野市茶臼山動物園	H20.9.10
アミメキリン	♀	リンリン	東京都多摩動物公園	H20.11.12

## 貸し出している動物

動物名	性別	愛称	貸し出し園館名	契約年月日
マナツル	♂		飯田市動物園	H8.5.17
クロエリハクチョウ	♀		京都市動物園	H9.3.25
フタコブラクダ	♀	典子	大阪市天王寺動物園	H9.5.6
フタコブラクダ	♀	蘭田	東京都立大島公園	H10.9.28
ミドリコングウインコ	♂		埼玉県こども動物自然公園	H10.1.5
ワオキツネサル	♂	ベシー	富士自然動物公園	H14.1.8
ジャガー	♂	ドルト	大阪市天王寺動物園	H14.3.5
タイハクオウム	♀	カボ	みさき公園	H14.7.10
チンパンジー	♂	コブハイ	横浜市立野毛山動物園	H14.8.12
ジェフロイクモサル	♀		宇都宮動物園	H15.3.14
イヌワシ	♀	空	盛岡市動物公園	H15.11.4
イヌワシ	♀	光	いしかわ動物園	H19.3.31
カリフォルニアアシカ	♀	ナナミ	とべ動物園	H19.6.18
グラントシマウマ	♀	ナイーブ	仙台市八木山動物公園	H19.11.6
トナカイ	♀	ハルコ	千葉市動物公園	H20.2.26
ラマ	♂	マサル	市原ぞうの国	H20.3.26
バドジロオマキサル	♂	ティム	那須ワールドモンキーパーク	H20.5.19
ワタボウシパンシェ	♀		埼玉県こども動物自然公園	H21.3.16
アムールトラ	♀	アルル	広島市安佐動物公園	H21.6.5
アフリカタテガヤマアラシ	♂	ガチャピン	とべ動物園	H21.8.31

※上表および左表の動物は、契約年月日順に掲載しています。

## 飼育レポート

### BL借り受け動物の近況と繁殖実績について

貸し借りする動物については、毎年その飼育状況について報告することが契約書で決められています。あらためて、BLで秋田にやってきた動物の最近の暮らしや繁殖の実績についてレポートします。

## アメリカビバー

担当 1班 菅野 達也



生まれた子供に授乳するモリコ

子供たちと眠るモリコ(中央)

大森山動物園では、オスとメス1頭ずつと、その子供2頭の計4頭のアメリカビバーを飼育している。オスのマリオは新潟にあるマリンピア日本海から、平成19年3月に来園した。メスのモリコは大森山生まれである。

来園した当初のマリオにはまだ幼さが残っていて、年上のモリコに甘えるような行動が多く見られたので、マリオが父親になるのはもう少し先かと考えていた。しかし、その年の冬には、当時いたもう1頭のオスを威嚇したり、追いかけてまわすなどの行動がみられるようになり、年が明けた

2月頃には、モリコにプールで交尾しようとする姿も確認できた。繁殖を期待していたところ、モリコの胸部にふくらみがではじめ、6月のはじめに2頭の子供が無事生まれた。マリオと子供たちの間にトラブルもなく、子供たちはすくすくと成長することができた。

良くも悪くもマイペースなマリオ。今回は、年上のモリコに育児をまかせることが多かったように思えた。最近では少しずつ成長しているようなので、次に子供が生まれる時には、もっと父親らしくなってくれることを期待している。

## アムールトラ

担当 2班 佐藤 正



小さい頃のアルルとミルル

アシリ(左)とウィッキー

当園では、希少動物のアムールトラの繁殖を目指すため平成19年6月に東京都多摩動物公園からアシリ(メス10歳)を借り受け、平成17年3月から飼育展示しているウィッキー(オス10歳)の2頭で飼育が始まった。

10月末にアシリの発情を確認して同居を始めると、すぐ繁殖行動等が観察され、職員全員が二世誕生への期待を膨らませていた。当園でのアムールトラの繁殖は初めてだが、アシリ自身は3回の出産経験があり、無事に産んでくれることを信じていた。それでも多摩動物公園の飼育担当

の方からアドバイスを頂き、アシリが落ち着いて出産・育児ができるように念入りに環境作りに努めた。

平成20年3月6日、ついにその日が来た。2頭のかわいいメスの子供がとうとう産まれた。すぐに授乳も確認され、一安心。愛称はアルル、ミルルと決まり、皆さんに愛されてきた。

現在、アルルは繁殖目的で広島市安佐動物公園へ貸し出されており、二世誕生を楽しみにしている。そして、当園ではウィッキーとアシリを同居させて、あの「感動」を再び味わいたいと思う。

## カリフォルニアアシカ

担当 2班 千葉 可奈子



小さい頃のナナミ(手前)とスミコ

堂々とした姿のマヤ

当園では、オスとメスの2頭のカリフォルニアアシカを飼育している。メスのスミコは、昭和63年10月20日、神戸市立王子動物園からお嫁入りしてきた。嫁入り当時まだ1才の子供だったスミコも22才になった。

スミコは22年の間に4回の出産をした。一番最近の子供は、平成17年に、3番目の夫であるマヤとの間に生まれた子供だ。名前は「ナナミ」。平成19年、愛媛県立とべ動物園に嫁入り後、ジャンプで一躍有名になったアシカである。ナナミが嫁入りする前は、母娘で頭を並べてよく昼寝をしていた。娘に魚を横取りされたこともあったが、怒らず娘に魚を譲るなど、とても優しいお母さん

だった。娘が有名になり、たくさんの人たちに愛されていることは、母親のスミコにとっても嬉しいことだと思う。

さて、娘を嫁に出し、夫婦水入らずの毎日が戻ってきて、はや2年。意外とドライな性格のスミコ。夫と四六時中一緒にいる訳ではなく、気分がのらなければ夫からの泳ぎの誘いやラブコールを無視する時もある。熱烈アピールの時には怒ったことさえあった。

しかし、ひとたび一緒に泳ぎだしたら一気に二人の世界に。餌も食べず、飼育員も無視。極端な愛の温度差を持っている2頭ではあるが、2頭の間に再び新しい命が誕生することを期待している。

## アミメキリン

担当 3班 佐藤 光



リンリン(右)とオスのジュン

展示場や餌、オスとの同居などの問題でいろいろ苦労をした搬入時に比べ、今はのどかに過ごすリンリン。発情も周期ごとに見られ、オスの発情行動も確認でき、繁殖に期待が膨らんでいたところ、日動水より「キリン飼育管理マニュアル」作成にあたっての研究と調査の協力依頼があった。4月の終わり頃を境に繁殖行動が認められなくなっていたため、この機会にと参加させていただいた。調査は、採糞をし、糞中性ホルモンの測定、分析による繁殖生理状態の把握、そして各個体に

ついでアンケート等々だった。

1か月間にわたり糞を検査していただいたが、糞中プロゲステロン値が高く、妊娠の可能性が高いとの結果をいただいた。100%とは言えないとのことだったが、5月からの行動等々と照らし合わせると、どうも期待できそうだ。オスの年齢(16歳)を考えると是非にでも繁殖にこぎつけたいものだ。



すっかり大森山動物園に慣れた様子ユウタ

## レッサーパンダ

担当 4班 堀籠 麻子

大森山動物園には現在3頭のレッサーパンダがいる。

ナナ(メス 平成13年生まれ)とその子、陸(メス 平成16年生まれ)、ユウタ(オス 平成18年生まれ)だ。このうちナナとユウタの二頭がBLで借り受けている個体である。

ナナは平成15年、多摩動物公園から来園して以来、2度の繁殖に成功し、計5頭の子をもうけている。まだまだこれからという時、ペアであった健康が亡くなった。相性がいいペアで、亡くなったときはとても悔やんだという話を聞いている。ペア不在のまま子育てに追われ、そのうちに約3年の月日が経った。子ども達も成長し、独り立ちしてきた平成20年、千葉市動物公園から念願のお嬢さん、ユウタがやってきた。

まずはユウタの環境慣らしから始めたが、持ち前の度胸と好奇心旺盛な性格のため、予想してい

たよりも早く大森山になじんでくれた。その後のナナとの見合いや同居も、拍子抜けするほどスムーズに進んだ。…といっても、同居したての頃は、大きな闘争はないものの、良くもなく悪くもなさそうな曖昧な距離感で、ナナ>ユウタの構図ができあがっていた。ユウタはナナの視線を感じると逃げ腰になり、ナナはユウタが接触しそうになると警戒態勢に入る。そんな関係が半年くらい続いていたが、5、6月に入った頃から急にお互いの存在を認め合ったかのように2頭の距離がぐっと縮まった。寄り添って寝る姿も見られ、身体が触れあっても小競り合いがなくなった。これから寒くて楽しい季節がやってくる。レッサーパンダにとっては恋の季節、繁殖シーズンだ。2頭とも大きな病気や怪我もなく元気に暮らしている。ペアとしての関係もよくなっている今季、新しい命が宿ることを期待したい。



仲よくなってきたユウタ(左)とナナ



食事中のオオバタン

## オオバタン

担当 5班 館岡 幸枝

平成7年3月に埼玉こども動物自然公園から繁殖用として借り受けたオオバタンのペアのうち、オスが死亡したため、現在ふれあいランドでメス1羽だけで飼育している。最近、ガラス越しでの展示を始めた。

オオバタンは近くで動く物や人に対して強い警戒心を持っている様子で、展示を始めた頃は飼育員に対しても激しく威嚇することが度々あった。現在はだいぶ慣れてきており、お客様に見られている時でも餌を食べたりするようになった。

また、もう少し人に慣らし、ストレスを軽減し、手

乗りにするという目的でトレーニングもしている。

餌は主にオレンジ・バナナ・キウイ・葉物(キャベツ等)を与えている。その他にもヒマワリの種やクルミを与えているが、オオバタンは特にヒマワリの種が好物のようだ。

普段、飼育員同士がオオバタンの前で話していると、人の話す様子をまねるかのようにして鳴いたり、大声でいきなり鳴いたりと活発だ。これからも大事に育てていきたい。

**動物病院から**

獣医師 安永 千秋

Topic レッサーパンダの

陸くん **改め** 陸ちゃん!?

当園には、陸というレッサーパンダがいる。陸は、BLで来園したナナの子供で、平成16年に生まれた。そんな陸に最近、驚きの事実が発覚した。これまで陸をオスとして飼育してきたが、メス疑惑が出てきたのだ。

当園ではレッサーパンダの性別を、幼獣の時に生殖器を見て判定する。陸の場合もそのようにしてオスと判定していたので、これまで何の疑いもなくオスとして扱ってきたが、担当者によると、「成オスであれば外から生殖器を見て分かるのが、陸にはそれがはっきり確認できない。また、同居していた兄弟のオスから陸がメスであるかのように追いかけることがある」とのことだった。

そこで健康チェックなども兼ねて、麻酔をかけ、性別を再確認したところ、メスだということが判明した。

人間であれば起こりえない誤りだが、動物では、種類によっては外見で性別が分かりづらいこともある。そうはいつても動物にとっての性別は重要な情報で、間違わないようにしなければならぬ。私も気をつけて性別判定にあたりたい。



実は女の子だった陸

**最後に...** 大森山動物園から他の動物園や水族館に貸し出している動物も、元気で暮らしていることと思います。これらの動物に会いに全国の動物園に足を伸ばしてみるのはいかがでしょうか？

# 秋田公立美術工芸短期大学との連携

園長 小松 守

私が欧米の動物園をいくつか視察しての共通した印象は、園内が豊富な緑と草花で彩られていたことに加え、展示施設周辺はセンスよくデザインされた案内サインや解説板、思わず触れてみたくなるような展示動物を模したメタルアートが随所に見られたことでした。ショップには動物見学とは別の楽しみを創り出す魅力的なデザイングッズがあふれ、動物園とアートが素敵に融合していました。

大森山動物園の近隣には秋田公立美術工芸短期大学(美短)があり、全国から集まった学生が工芸や産業デザインを学んでいます。

一昨年から、動物園をテーマとした産業デザイン学科の授業が行われていますが、昨年は企業支援が得られたこともあり、提案作品の一つを園内掲示板として実際に設置できました。今年は大森山の魅力アップをテーマにCI(コーポレート・アイデンティティ)の提案授業が行われましたが、すぐにも実用化したいような感性豊かなデザイン等の提案がたくさんあり、感心させられました。

見て楽しむ動物園、生き物を感じる動物園は、人の心を和ませ、豊かにしてくれる場所でもあります。魅力的な展示には、センスの良いデザインが欠かせません。また、生き物を感じる心(ハート)は、心揺さぶる芸術作品と触れることで増幅され、動物園での感動はより大きなものになることでしょう。アート(芸術)とハート(生きている動物)を融合させ、大森山が「動物と芸術の森公園」とも呼べるユニークな動物園になるという発想はどうでしょうか。

美短との関わり、連携は大事にしたいものです。



中間発表の様子



夏の夜に、特別な動物園へ!

# 夜の動物園

今年も8月14日(金)から17日(月)までの4日間、「夜の動物園」を開催しました。日中の動物園とは違った雰囲気の中で、普段は見るできない動物の姿を見る絶好の機会とあって、たくさんの方にご来園いただき、夜の入園者数だけでは過去2番目、日中の入園者も合わせると過去最高の約2万5千人のお客様にご来園いただきました。

「まんまタイム」で肉に飛びつくライオン

主に薄暮れ時に狩りをするのが多いライオンは、日中はゴロゴロと寝てばかりなのですが、夜になると動きが活発になります。また、夜になっても視力が落ちないため、真っ暗闇での鋭い眼光は迫力満点で、こうした姿を見ようと、ライオンの「まんまタイム」には大きな人集りができました。

また、今春オープンしたマーコールの岩山も、「夜の動物園」にあわせてライトアップ。新しい展示場で、これまでとは違う視点でマーコールをご覧いただきました。

動物たちの夜の食事風景などはめったに見ることができません。そこで今年は、来園した方にまんまタイムや動物解説などを少しでも多くご覧いただくため、モデルコースを提案。「たくさんの動物の様子を、効率よく楽しめた」と好評をいただきました。

秋田の夏の風物詩としてすっかり定着した「夜の動物園」。夕涼みをかねながら、家族で、グループで、そしてカップルでお楽しみいただきました。



目中には一味違うマーコールの岩山



大好物のスイカを食べるアフリカゾウ



人気のライオンの「まんまタイム」



特別イベント「ラマのエサやり体験」

## 飼育日誌から (平成21年2月～8月)

飼育職員が日々記録している飼育日誌の一部を抜粋してご紹介します。

- 2/23 ● **レッサーパンダ** ナナ(♀)とユウタ(♂)ガラス展示室。トラブルなし。
- 2/26 ● **キリン** 午前10時30分程度パドックへ。何度か♂の♀への追尾を確認。交尾はなかった。
- 3/15 ● **ライオン** バルミー(♀)日立市かみね動物園へ搬入。
- 3/18 ● **イヌワシ** 録画記録で19時30分頃、ふ化を確認。
- 3/23 ● **ワオキツネザル** 6頭の群に子供1頭生まれる。
- 3/24 ● **イヌワシ** ヒナの育成良好。
- 3/25 ● **ライオン** パロン(♂)東北サファリへ搬入。トラブルなく輸送箱へ収容。
- **ワオキツネザル** 6頭の群オープン展示。ワオキツネザルの仔(母親 はるちゃん)元気である。

- 4/1 ● **ゾウ** 2頭とも午前11:30頃、泥浴びを盛んにしていた。
- 4/23 ● **ライオン** ラガー(♂)を多摩動物公園より搬入。室内で落ち着いている様子。
- **カピバラ** 埼玉こども動物園より♀(愛称 トモ)を導入。最初は落ち着かなかつたが、1時間たつと一定の場所にとどまるようになる。
- 4/24 ● **ビーバー** ナツとピリーの尾の上側にすり傷のようなものがあったので、夕方に消毒。
- 4/30 ● **カンガルー** デニー一(♂)屋外展示。特に興奮して走り回ることもなく、落ち着いていた。
- 5/2 ● **ホオアカトキ** 左エメラルド、右紫ペアのヒナの声らしきもの確認。



秋篠宮殿下のお言葉



総会の様子

## 日本動物園水族館協会総会を終えて

全国約160の動物園・水族館が加盟する社団法人日本動物園水族館協会の総会が、5月28日と29日の2日間、秋田ビューホテルを主会場に開催され、全国各地から園館長など約150名が参加しました。また、総会にご臨席された秋篠宮殿下が、大森山動物園をご視察なさいました。

総会では議事のほか、作家の西木正明氏の記念講演、「日本人の動物観と動物園水族館」をテーマとした課題講演や研究発表なども行われました。

また、開催園である大森山動物園の視察もあり、本園の魅力を全国に発信することができたと思います。

さらに、総会には同協会の総裁を務められる秋篠宮殿下にもご臨席を賜りました。

秋篠宮殿下は、秋田わか杉国体などで何度か秋田をご訪問されていますが、大森山動物園にお迎えするのは今回が初めてでした。

当日は快晴で、最高気温が26度にもなり、五月の秋田としては暑過ぎるくらいの好天。

秋篠宮殿下は、遠足の幼稚園児や来園中のお客様にこやかに手を振りながら、小松園長ご案内のもと、人工育雛され飼育員の手に乗ったイヌワシや、秋田三鶏などを熱心にご覧になりました。

約1時間のご視察でしたが、大森山動物園をお楽しみいただけたのではないかと思います。

事務長 佐藤 徳次



西木正明氏による基調講演



秋田三鶏をご覧になる秋篠宮殿下



イヌワシのご説明を聞く秋篠宮殿下



園内をご覧になる秋篠宮殿下

- **エリマキキツネザル** 出産。朝、子供を口にくわえていたが、巣箱の中に入って出てこない。
- 5/6 ● **ホオアカトキ** ヒナ羽確認。元気に親から餌をもらっていた。
- **エリマキキツネザル** 仔、元気であることを確認。
- 5/14 ● **ライオン** ラガーとマンゴーをお見合い。特にトラブルなし。
- 6/9 ● **マーコール** ララ(♀)2頭出産。仔は立ち上がり、その後授乳を確認。
- 6/18 ● **アムールトラ** アルル(♀)安佐動物公園へ搬入。
- 6/19 ● **キリン** カシワ、クワを与える。葉物が好きなようで食いつきが非常によい。
- 6/24 ● **ライオン** 午前同居。特にトラブルなし。
- 6/26 ● **ポアコンストリクター** 円山動物園より搬入。部屋に入るとすぐに動き始め、室内の様子をみていた。夕方は木の上に落ち着く。

- 7/7 ● **キバタン** サクラ(♀)夕方、「サクラちゃん」と何度も鳴いていた。
- 7/5 ● **ミニプタ** とん吉(♂)とん平(♂)ともに元気、食欲あり。ワラでボールを作って与えたところ、とん吉は少し興味を示していた。
- 7/15 ● **アフリカゾウ** 花子(♀)右下の歯(第4臼歯)が抜け落ちていた。口の中は出血もなく、餌の採食時も特に変化は見られなかった。
- 7/21 ● **ラクダ** 夏毛が少しづつ生えてきている。
- 8/1 ● **ホオアカトキ** ヒナの飛び方が力強くなっている。餌の採食も上手。
- 8/6 ● **ツキノワグマ** 暑さのためかよくプールに入っている。
- 8/12 ● **トナカイ** 暑いため扇風機に当たっていることが多い。
- 8/15 ● **ビーバー** 夜の動物園時はずっと外で泳いでいる。

# かたばた通信



## 終了イベント紹介

### 第32回 親と子の ふれあい写生大会

7月  
24日▶26日  
開催



#### 秋田市長賞

「勇者タイガー」 横渡 優介様

今年は、3日連続で開催し、多くの方に参加していただきました。小さなお子様から大人の方まで、697点の力作が提出されました。

今年の上位三賞はこれらに決まりました。他にも園長賞を始め、83名の方が入選されました。



#### 秋田市議会議長賞

「ポニーが草を食べた」

本多 泰容様



#### 秋田市教育長賞

「野原にいるキョン」

宮崎 美花様

### 第35回 サマースクール

8月  
1日・3日  
開催

毎年夏休みの恒例イベントですが今年も大人気で、すぐ定員となりました。お友達同士、家族の皆様などの申込みが多く、和気あいあいとした中で行われました。

動物の飼育体験や、普段なかなか見ることのできない施設の裏側を、動物園職員の説明を聞きながら見学するなど、貴重な体験ができた一日でした。



飼育体験の様子



裏側探検の様子

大きいね〜

## これからのイベント



### さよなら感謝祭

11月29日  
開催

亡くなった動物の霊を慰めるとともに、動物とお客様への感謝を込めて毎年開催する「さよなら感謝祭」を今年も開催します。

亡くなった動物たちの写真を飾り、みんなで献花などをする動物慰霊祭のほか、お客様に感謝の気持ちを込め、特別イベントも開催予定です。



昨年の慰霊祭の様子

### 雪の動物園

平成22年  
1月・2月の  
土日祝 開催

普段とはひと味違った、銀世界の動物園に来てみませんか？皆様お誘いあわせの上、お越しください！

- 開園日 平成22年1月／2月の土日祝日（正月三が日をのぞく）
- 開園時間 11:00～15:00（入園は14:30まで）
- 入園料 大人300円  
中学生以下無料、パスポートも使用可。



前回の雪の動物園の様子

まってるよ!

## お知らせ



### コウノトリ舎をリニューアル

昨年より老朽化したコウノトリ舎の改修工事を行っていましたが、21年4月よりコウノトリの展示が始まりました。止まり木を整備したり、営巣場所を確保するなど、少しでも快適な環境になるよう配慮しました。どうぞ、ご覧ください。



リニューアルしたコウノトリ舎

### アナグマを導入予定

21年秋に、アナグマを導入予定です。1月に飼育していたアナグマが死亡し、動物舎が空いていましたが、オス1頭がわんぱーくこうちアニマルランドより、メス1頭が愛媛県立とべ動物園より導入される予定です。

新しい仲間を楽しみにお待ちしております！



※写真は以前飼育していた個体です

■発行所／秋田市大森山動物園  
〒010-1654 秋田市浜田字瀧端154  
TEL.018-828-5508  
FAX.018-828-5509  
■発行／小松 守  
■デザイン・印刷／(株)コンセプト

■動物取扱業者の氏名 秋田市長 穂積 志  
■事業所の名称及び所在地 秋田市大森山動物園 秋田市浜田字瀧端154  
■登録に係る動物取扱業の種類  
【展示】指令動-7-5-7【貸出し】指令動-7-3-2【販売】指令動-7-1-36  
■登録の年月日 平成19年6月1日 ■有効期間の末日 平成24年7月31日  
■動物取扱責任者の氏名 千葉 克己

ホームページは  
「大森山動物園」で検索  
E-mail : ro-inzo@city.akita.akita.jp

携帯電話でも動物園の、各種情報をご覧いただけます。ご来園の際にご活用ください。

